ニッキン ONLINE

仙台銀、TKC東北会と合同勉強会　巡回監査士招く

2026年10月21日 18:03



意見交換する参加者（10月21日、本店）

仙台銀行は10月21日、本店でTKC東北会（仙台市、居川孝男会長）と合同の勉強会を開催した。中小企業支援への質を高めるための連携強化策の一環。中堅の渉外担当者34人と、TKC東北会会員の会計事務所で巡回監査士の資格を持つ職員18人が参加した。

「”顔の見える関係づくり”を通じて相談体制を整え、個社別の経営課題に応じた支援につなげたい」（地元企業応援部の武田信部長）考え。巡回監査士との合同勉強会は、東北地区の金融機関で同行が初。同会の根岸祐太氏によると「全国の金融機関と連携する取り組みでもあまり例がない」という。

同日は、地元企業応援部法人推進室の吉田祐主任と巡回監査士の櫻井里勇氏がそれぞれの一日の業務フローなどを紹介。その上で吉田主任は「取引先からの相談や融資実行後のアフターフォローにおいてTKCとの連携は必要不可欠」と強調。巡回監査士の櫻井氏も「経営者の最も身近な相談相手になるには、取引先と日ごろから接点のある仙台銀との連携が大事だ」と話した。

続くグループワークでは、参加者が9つのグループに分かれ、「中小企業支援の現場における銀行渉外と巡回監査士の連携について」をテーマに意見を交わした。

同会宮城県支部の大谷津敏支部長は「勉強会を通じて仙台銀との結びつきをより強めるとともに、今回の活動をきっかけに東北地区の他の金融機関とも交流の場を広げたい」と期待。

同行は、2015年に同会と「中小企業の経営力強化に向けた覚書」を締結して以降、毎年の支店長向け勉強会のほか、若手や女性行職員同士などで勉強会を重ねてきた。

武田部長は「中小企業支援に取り組む外部機関との連携を通じて、支援の幅と質を高めていきたい」と意気込む。

日本金融通信社が記事利用を許諾しています
ニッキン ONLINE　2026 年 10 月 21 日